

映画「イルポスティーノ」より

※セリフ短くアレンジしました。言いやすいように変えてください。

郵便配達人：無教養、シャイで素朴でおっとり。詩に興味を持っている。

詩人：知識人、郵便配達人を温かい心で受け入れている。

映像	サイズ	セリフ
2 ショット・長回し	WS	<p>詩人 「この島の海は、静かにしていない。 『私は海』と言いながら、岩にすがる。 でも、岩をくどけない。そこで7つの緑の言葉と、 緑の虎、緑の犬、緑の海で、岩を撫でくちづけし、 わが胸を打ち、名を繰り返す。」</p> <p>郵便配達人 「・・・」</p> <p>詩人 「どうだ？ どう思う？」</p> <p>郵便配達人 「・・・変だ」</p> <p>詩人 「変？ 厳しい批評家だな」</p> <p>郵便配達人 「違う違う、詩ではなくて・・・ 聞いてるときに、変な気分になった。」</p> <p>詩人 「どんな気分だ？」</p> <p>郵便配達人 「よく分からないけど・・・ 言葉が、寄せては返した。」</p> <p>詩人 「海のようなな」</p> <p>郵便配達人 「その通り。海のように・・・船酔いになった」</p> <p>詩人 「船酔い？ ははは」</p> <p>郵便配達人 「うまく説明できないけど、まるで・・・ 言葉の真中で揺れる小舟のような」</p> <p>詩人 「言葉に揺れる小舟？・・・うまくやったな」</p> <p>郵便配達人 「何をですか？」</p> <p>詩人 「隠喩だよ」</p> <p>郵便配達人 「まさか」</p> <p>詩人 「本当だよ」</p> <p>郵便配達人 「そんな・・・本当に？」</p> <p>詩人 「間違いない」</p> <p>郵便配達人 <うれしそうに照れる></p>